



TITLE:

# 世界の言葉を繋ぐ「言語グリッド」

AUTHOR(S):

大谷, 雅之

---

CITATION:

大谷, 雅之. 世界の言葉を繋ぐ「言語グリッド」. 京都大学アカデミック  
デイ2014: ポスター/展示 2014

ISSUE DATE:

2014-09-28

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/195999>

RIGHT:



## 言語の壁を打ち破れない機械翻訳サービス

### 機械翻訳は誤訳が多い(例: Google翻訳)

台風16号は温帯低気圧に変わったが、引き続き  
南から暖かく湿った空気が流れ込むため、広い範  
囲で大気の状態が非常に不安定になる見込み。

Typhoon No. 16 was changed to an  
extratropical cyclone, but because the air was  
warm, moist from the south continue to flow, it is  
unlikely that the state of the atmosphere is very  
unstable in a wide range.

大気の状態が広い範囲で**非常に不安定になること  
はほとんどありません。**



機械翻訳は状況に合わせた翻訳が苦手

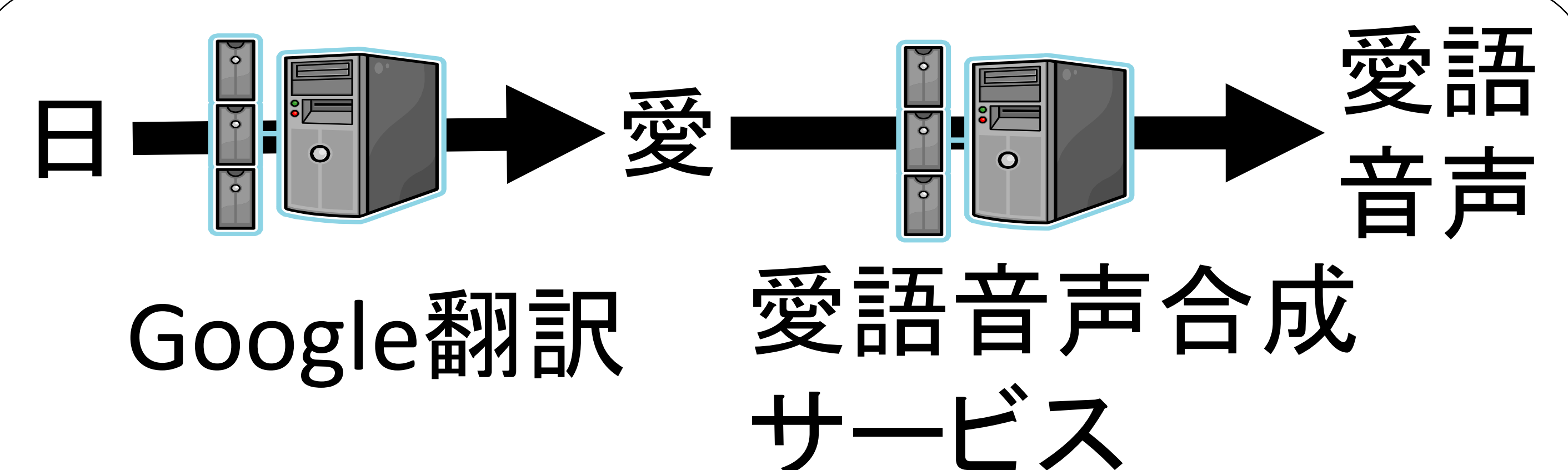
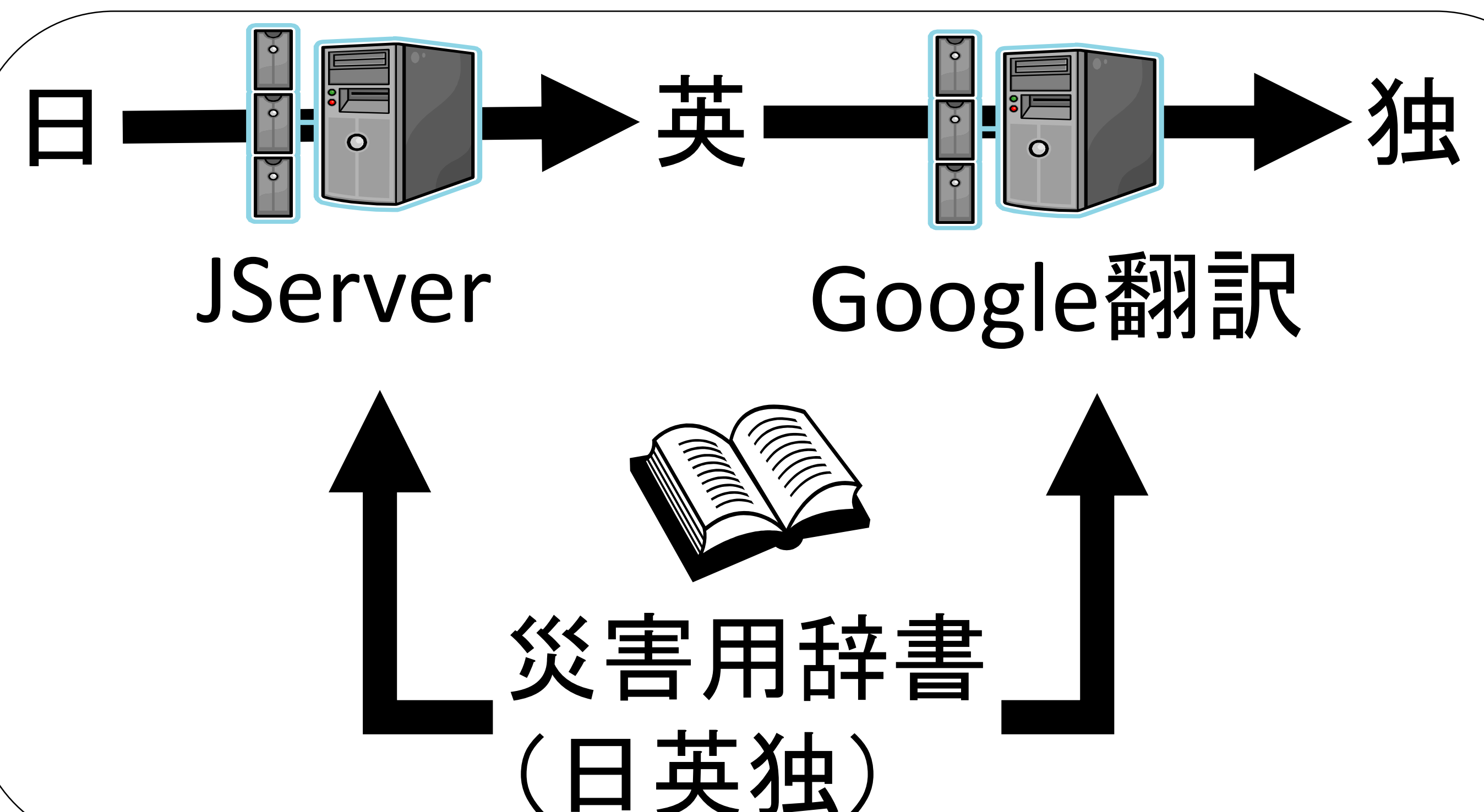
### 言語グリッド: 既存の言語サービスを組み合わせ新たなサービスを作る



日本に住むドイツ人です。  
日本は地震が多いけど、  
災害時アナウンスの用語  
が分からなくて困ります



アイルランド旅行のときに  
Google翻訳に読み上げて  
欲しいけど対応してない



### 言語グリッドを使った異文化コミュニケーションの実例

#### ベトナム農業支援プロジェクト

#### 実際に現地(ベトナム)に行って活動



実証実験の  
セッティング

現地での  
インタビュー



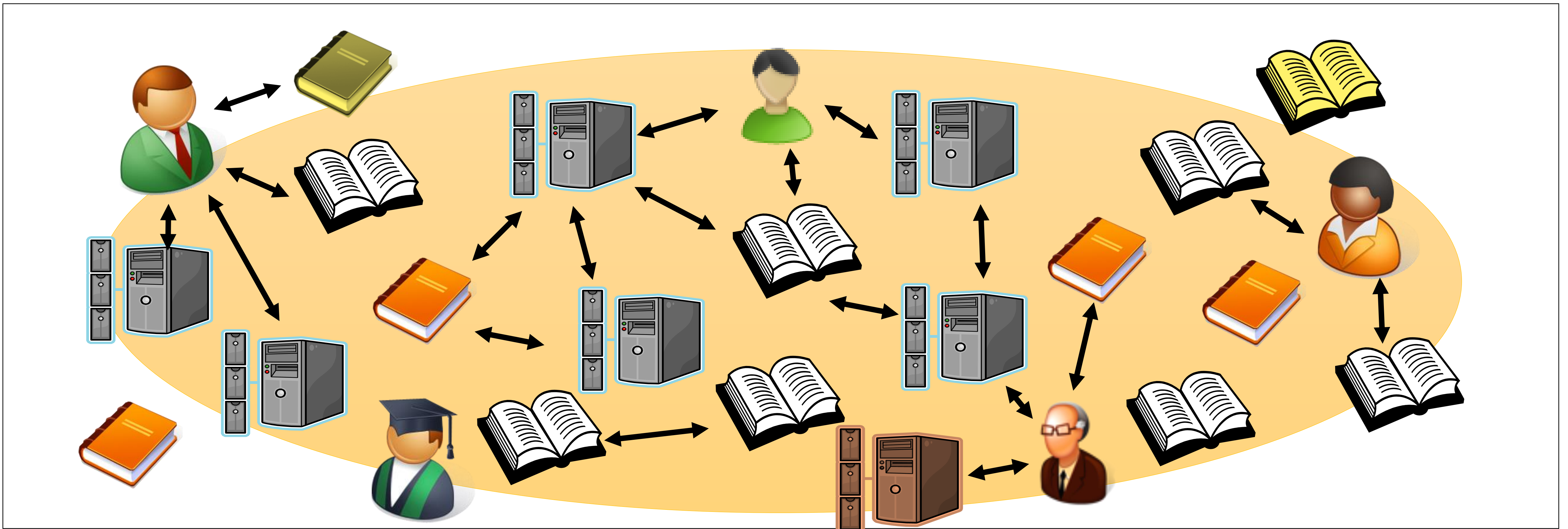
研究室のテーマ: **集合知**という考え方を使って社会の問題を解決する！

翻訳ソフトの研究ですか？

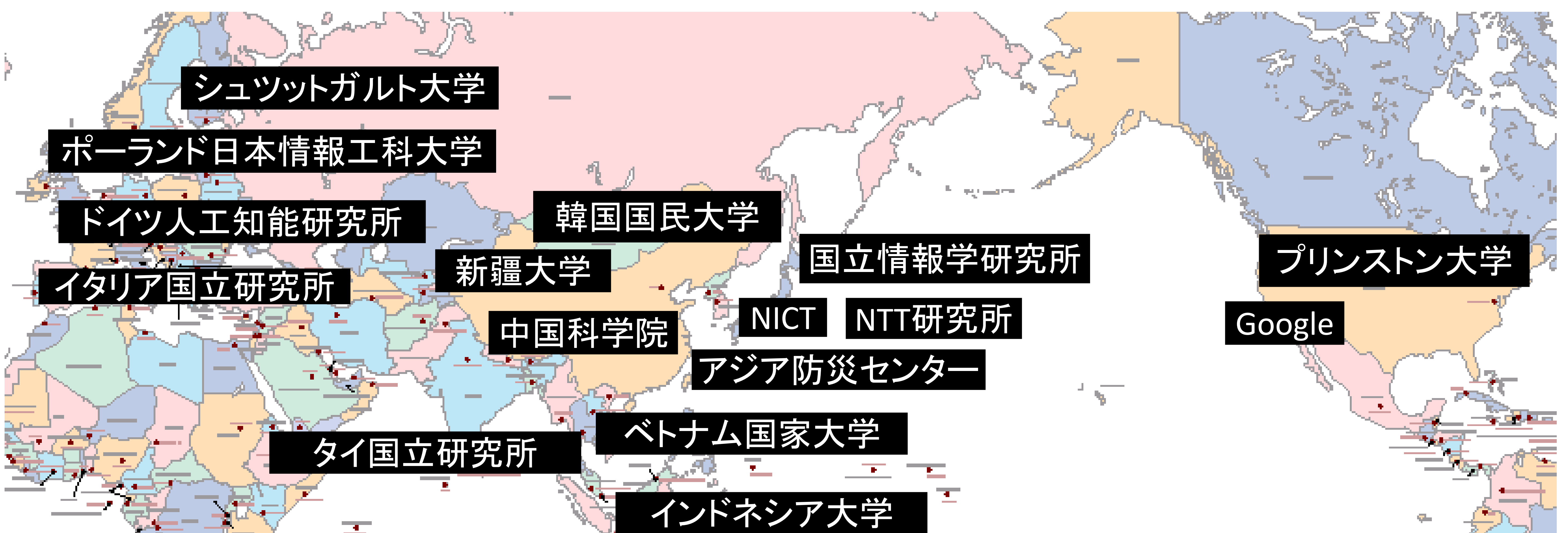
**違います！「集合知」の研究です**

**集合知：集積した知恵＋多数の人の参加⇒更なる知恵**

インターネットではこれまでの知恵の集積に30億人が参加し、日々様々な知恵が生まれている

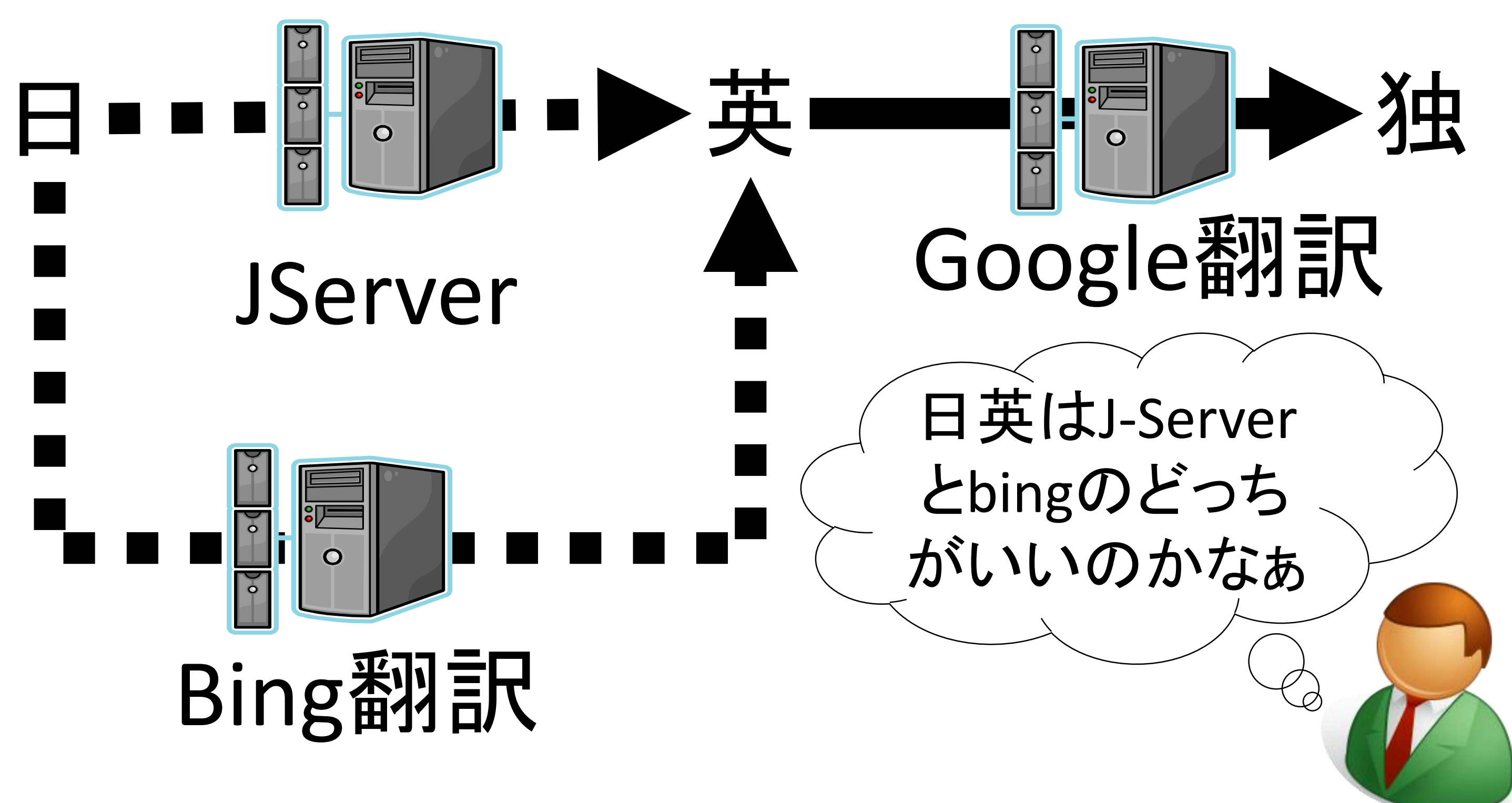


世界各地の大学・研究機関・企業(17カ国160組織)が  
言語サービス(178サービス)を共有し、世界規模で集合知構築！



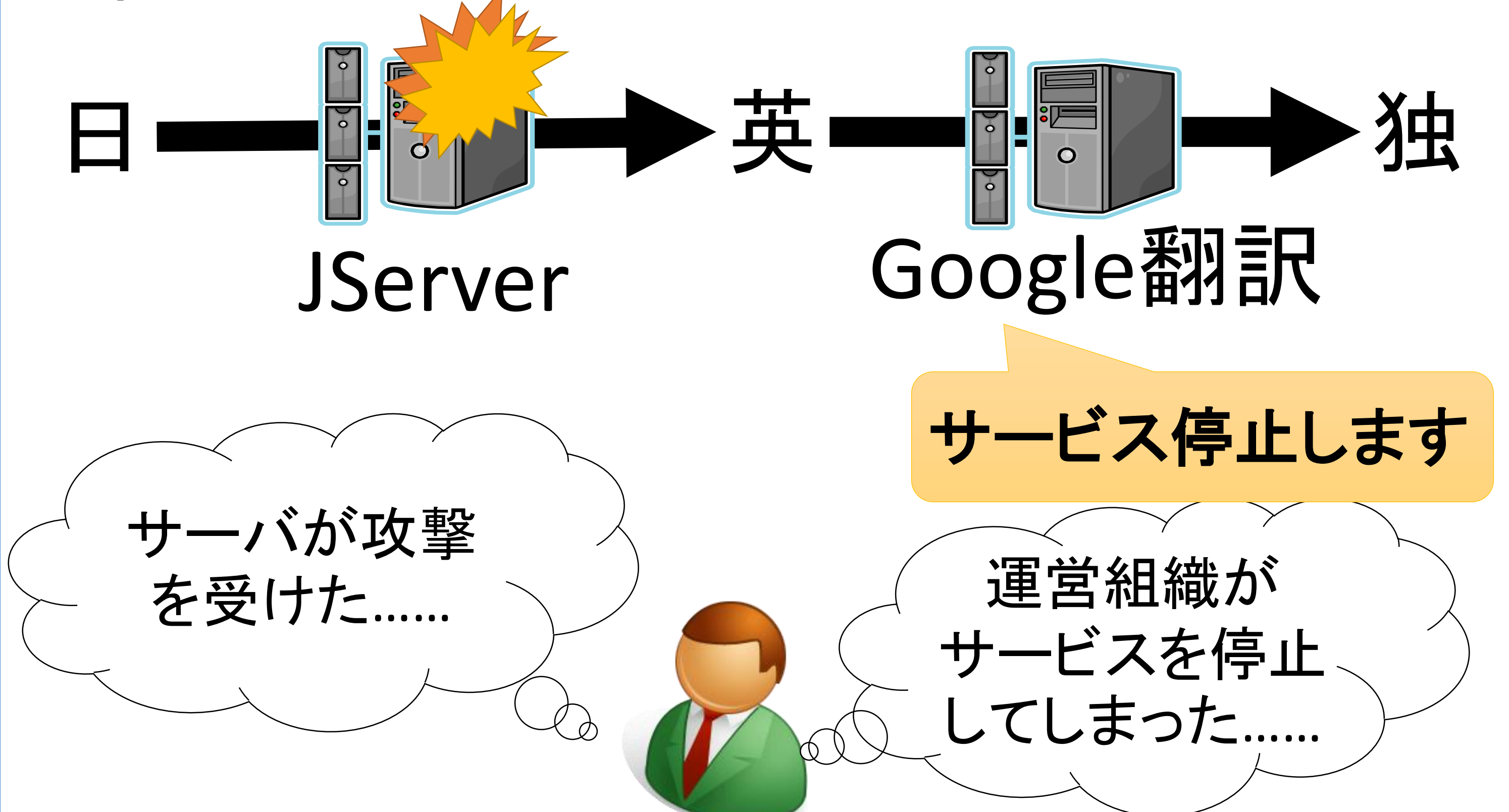
具体的な言語グリッドの研究課題の例

良い言語サービスの組み合わせは？



サービスの品質(QoS)を最大化する  
組み合わせを発見する手法を考える

言語サービスが突然使えなくなったら？



サービスが使えなくなっても品質低下  
なしですぐに切り替える手法を考える